

## 第 190 号

発行日：2015年7月1日

発行人：神 立 秀 明

〒950-2172 新潟市西区内野上新町11810番地3

TEL 代表(025)264-5000

FAX(025)261-4430

在宅ケアセンターゆうばえ内



## 夕映えの会

## 住民の声

## 戦後70年シリーズ

## 世界の模範となる

## 文化国家・日本を願って



須田 恭蔵

私は昭和18年17歳の時、海軍甲種飛行予科練習生を志願しました。奈良・宝塚航空隊で操縦練習生として猛訓練の日々を過ごしていました。昭和19年9月、「天地が引っくり返るような新兵器が開発され、搭乗員を募集する」という通達がありました。私はこの募集に応募、2000名の志願者の中から200名が選抜され、第一特別基地隊に着任しました。新兵器は「人間魚雷回天」でした。「回天」は直径1m、長さ14.75m、1.2mの潜望鏡がありエンジンは九三式酸素魚雷550馬力、水中速度は30〜40ノット（最高速度時速55km）で疾走、頭部には1.5tの火薬が詰まっ

ていました。乗員1名で操縦し、敵艦・空母に体当たりする特攻兵器で自爆装置もついていました。乗ったら生きては戻れない兵器でした。参謀からは「新兵器が自分の想像と異なり違和感のある者は遠慮なく申出てくれ。」と説明されました。しかし申出た者は一人もいませんでした。

10月から2ヶ月間、飛行機乗りから船乗りへ鞍替えするため、魚雷艇訓練所で操船訓練を受け、12月28日、本隊の山口県・光基地「嵐部隊」へ。入隊すると特攻長の訓示がありました。「諸君の命は只今、この私が貰った。諸君はもう既に神様になった」と檄を飛ばしたものです。隊内の空気は緊張感に溢れ、かつ整然とした独特の雰囲気がありました。

回天の訓練は最小限の水中訓練で熟達することが求められました。当初の停泊艦船への攻撃から戦況悪化の中、航行艦船への攻撃（本土防衛含む）と変わっていき、それだけ操縦技術は困難を極めました。光基地では訓練中の事故を含めて若者80名余が戦死しました。そして戦争が長引けば、間違いなく私もそのうちの一人となったことでしょう。

玉音放送は、この光基地で聞きました。良くわからない私たちに、上官が「日本は戦争に負けた」と説明してくれました。「死なずにすんだという安堵感と戦友たちへの申し訳なさ」。直後に血気盛んな若者たちが「終戦反対！」のチラシをまく事件が起きました。そういうこともあって軍上層部は、部隊の解体をいち早く決め、私は8月24日には、郷里の白根・小林村に帰還を果たしたのでした。

戦争を美化するものではないし命を粗末にするものでもありませんが、あの戦争中、兵士たちは戦地で全力を尽くしたということを、胸に刻んでほしいと思います。軍事教育のなせる業だということも…。

同時に、目の利益に踊らされず、短期的には利益を少々損なっても、軍事同盟に乗ったり、乗せられたりする愚は二度と繰り返してはならないと思います。齢89の元回天特攻要員の切なる願いです。

戦後70年、戦争をしない日本は、途上国からも先進国からも、歓迎され期待されてきました。不都合は何一つありません。

（五十嵐中島四丁目在住）

# NPO法人 新潟夕映えの会 会計決算報告

平成26年度「特定非営利活動に係る事業」会計 収支計算書

(単位：円)

## 貸借対照表

平成27年2月28日現在

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産		1 流動負債	
現金	504,042	買掛金	442,560
普通預金	1,390,959	未払金	240,815
売掛金	873,385	未払県市民税	70,000
		預り金	6,057
2 固定資産			
什器備品	6,027	III 正味財産の部	
		前期繰越正味財産	2,087,693
3 その他の固定資産		当期正味財産増加額	-29,712
電話加入権	43,000		
資産合計	2,817,413	負債正味財産合計	2,817,413

## 損益計算書

平成26年3月1日～平成27年2月28日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
受取利息	137	給食材料	2,868,000
会費収入	300,000	人件費	2,476,546
給食事業収入	3,582,600	事業交通費	526,220
生活支援収入	1,846,800	通信費	79,552
補助金収入	900,000	保険料	13,064
雑収入	32	モデル事業	520,467
		減価償却費	2,162
		租税公課	70,000
		雑費	103,270
		当期資産増額	-29,712
合計	6,629,569	合計	6,629,569

私は山が好きで、相手があれば登山に出かけました。最初に登ったのは北アルプス・槍ヶ岳でした。信濃大町からバスで上高地に向いカッパ橋を渡り山に入ります。大正池を見た時は、朝霞の中に枯木がまばらに立ち並び仙人でもあらわれそうな神秘的な感じ。

次は佐渡の縦断です。両津から梅津経由でドンデン山―妙見山―金北山と相川に抜けました。途中の一面緑の牧草に放牧されている牛たちがチョッと羨ましくなりました。両側に海を眺め佐渡島を跨いだ気持ちでした。

次は谷川岳です。石打の山小屋を朝5時出発、晴天に恵まれ頂上からの眺めは最高でした。土合への下山はゴロゴロ石の下り、滑りながらの、大股での下山でしたから、さらに土合の地下駅までの階段は、辛くてやっとの思いでした。

最後は67歳、富士山でした。登ったことのある人から話を聞かされ、今行かないと先はないとツアーの申し込みをし、満席ながらキャンセル待ちで念願を



## 「健やガシニッ」してます！ 第20回 山に魅せられて

五十嵐 元 (五十嵐西)



果たすことができず。8合目の山荘に18時頃到着し、夕食にカレーをいただき仮眠。翌朝1時に出発、もの凄い行列です。頭にカンテラを付けゴロゴロの石道を誰言うともなく、「六根清浄く六根清浄」を唱えながら頂上めざして登ります。山頂の大鳥居をくぐったのは4時半頃、やっと安心しました。山頂では御来光を撮ろうと場所の確保に右往左往。山頂は晴天なのに足元からゴロゴロと雷様、まさに歌の文句のようでした。やがて東の雲海から真っ赤な太陽が顔を出し、あたりは一齐に「バンザイ」の三唱。私も力いっぱい叫びました。

楽しかった山登りは一応終了し、今は年2〜3回のハイキングを楽しんでいます。老老介護の身、それなりに頑張ります。「自分の体は自分で守る」を基本に、転ばぬ先の杖を心がけ、楽しく過ごしたいと思います。

それにつけても良寛の一首が身にしみる今日この頃です。

年月の来むと  
知りせば たまほこの  
道の巷の 関据えましを

リレートーク



こんなデイサービスはいかがですか?  
「夢あり入浴なし」の  
「ささえ愛 ゆあほ〜む」です

管理者 枈倉 幸一

「ゆあほ〜む」のある日の様子を紹介します。

午前

- ※一日の活動記録は、ご自身で大学ノートに綴ります。
- ①日付、曜日、室内温度を記入
- ②「私の大事なもの・こと」を書いて発表
  - ・鉢植えのサギ草、時間、お世話してくれる方への感謝の気持と笑顔、家族・一族の幸福を祈る、「ゆあほ〜む」に通いつけていること、等々
- ③体の緊張をほぐす体操
- ④体の中のエネルギーを出すための歌唱
  - ・涙そうそう、鉄道唱歌替え歌、長崎の鐘、シャボン玉、浜辺のうた等、十曲程度
  - ・ふりをつけて歌ったり、独唱したり、デュエットしたり

昼食

- ※調理員さん、スタッフさんも一緒にいただきます
- ①調理員さんよりお料理の説明（食材等）
- ②食事の写真をノートに貼り、メニュー・材料を写真の下に書く
- ③一番おいしかったもの一つか二つに赤丸をつける
- ④可能な方は、感想を書く

午後

- ※創作活動
- ①丸・半円・参画を使ったデザイン画を創り、多色を彩色する
- ②できあがった作品をクルクル回し、上下を決めタイトルをつける
  - ・「焦点」「しきつめる意志」「微妙なバランス」等
- ③観賞会
 

ここでの創作活動は、斜線と曲線、直線と円等々、いろんな組み合わせでできる空間を多色彩色し、できあがった作品を見て、タイトルをつけます

  - ・「光さす道」「スタンドグラス」「とにかく前進」等々、その時点での利用者さんの感性が光ります

“ささえ愛ゆあほ〜む” ブログ  
<http://yuahome.air-nifty.com>

平成26年度決算報告

社会福祉法人 ゆうえい会  
平成26年4月1日～平成27年3月31日

平成26年度の社会福祉法人ゆうえい会の決算報告をお知らせいたします。

事業活動計算書 (単位：千円)

勘定科目		当年度末
事業活動 収支	収益 介護保険収入他	368,999
	費用 事業経費他	362,234
	事業活動収支差額	6,765
事業活動外 収支	収益 受取利息およびその他のサービス外収益	1,274
	費用 支払利息他	6,292
	事業活動外収支差額	- 5,017
特別収支	収益 施設整備等補助金収益	42,900
	費用 基本金組入および国庫補助金の積立、取崩	54,460
	特別収支差額	- 11,560
当期活動収支差額		- 9,812
前期繰越活動収支差額		271
次期繰越活動収支差額		- 9,541

貸借対照表 (単位：千円)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	130,110	流動負債	23,656
現金預金	64,648	短期運営資金借入金	14,000
未収金	65,418	未払費用	8,388
立替金	43	預り金	110
		職員預かり金	1,157
固定資産	499,191	固定負債	362,534
基本財産	479,202	設備資金借入金	341,574
土地	86,201	長期運営資金借入金	20,960
建物	293,919		
建物付属設備	99,081	負債の部合計	386,190
その他固定資産	19,989	純資産の部	
建物付属設備	1,519	基本金	167,500
構築物	5,603	国庫補助金等特別積立金	85,152
車輦運搬具	2,794	次期繰越活動収支差額	- 9,541
器具および備品	8,023	(うち当期活動収支差額)	- 9,812
ソフトウェア	36		
出資金	50		
その他固定資産	1,962	純資産の部合計	243,110
資産の部合計	629,301	負債及び純資産の部合計	629,301

- 〈作り方〉
- ①かぼちゃは種とワタをスプーンで取り、半分に分ける。それぞれラップで包み、電子レンジ(600W)に4分間かけたら、上下の向きを変えて再び1〜2分間かける。ラップをはずし、食べやすい大きさに切る。
  - ②ししとうがらしはヘタを短く切り、縦に1本切り目を入れる。んにくは縦半分に切って芯を取り、つぶす。
  - ③牛肉に塩、こしょう各少々をふり、下味をつける。
  - ④フライパンにサラダ油大さじ1とんにくを入れ、弱火にかける。んにくが少し色づいてきたら③を加え、中火にしてほくほくしながら炒める。
  - ⑤牛肉に焼き色がつき始めたら①を加え、木べらなどで大きく混ぜながら、1〜2分間炒める。
  - ⑥ししとうがらしを加え、2〜3分間炒めたら、しょうゆとバターを加えて、サツと混ぜる。バターが溶けたら器に盛る。

芦岡さんの  
ご飯です〜!

ゆうばえの里 管理栄養士  
芦岡実可子

「かぼちゃと牛肉のバターしょうゆ」  
しょうゆとバターの組み合わせでご飯が進みます!

〈材料〉(2人分)

- ・かぼちゃ ¼個
- ・牛切り落とし肉 200g
- ・ししとうがらし 1パック(100g)
- ・んにく 1かけ
- ・塩 少々
- ・こしょう 少々
- ・サラダ油 大さじ1
- ・しょうゆ 大さじ1と½
- ・バター 20g



2015  
**7**  
ミニイベントの  
お知らせ

■ 2日(木) 新舞踊

日の本グループの皆様

■ 6日(月) 踊り

「赤いぐみ」諸塚幸子様他

■ 7日(火) オカリナ演奏

石黒 絲子様

■ 12日(日) 民謡

「梅芳会」の皆様

■ 16日(木) 語り部

「あねさの会」朝妻サワ様他

■ 20日(月) 新舞踊

「秋葉すみれ会」堤イミ子様他

■ 21日(火) レクダンス

「和の会」の皆様

■ 22日(水) お抹茶をいただく会

佐々木 紀美様他

■ 24日(金) マジックショー

佐々木 邦次様

■ 25日(土) いっぺこと歌おいね

川崎 和幸様

**とき**

午後2時30分より

※お抹茶を頂く会は

午後3時15分より

**ところ**

ケアセンター「ゆうばえ」

デイサービスセンター

地域の皆さんのご来所をお待ちしています。  
一緒に楽しみましょう。

**職員募集**

- ・介護職員  
(夜勤可能な方)
- ・看護師(日中のみ)
- ・主任介護支援専門員

お気軽にご一報ください。

(お問い合わせ)

TEL 264-5000

渡辺まで



NPO夕映えの会の  
**生活支援活動配食サービス**

をご利用下さい!!

生活支援活動

- ・どんなお手伝いでも1時間  
1,000円です。
- ・車を使ってのお手伝いのご相  
談もお受けいたします。
- \*介護保険は適用されません。

詳しくは090-1431-7996  
(小川)まで

配食サービス

- 高齢者や障害をお持ちの方
  - ・食材の買い物等が困難な方
  - ・食事作りが困難な方
  - ・けが・病気等で一時的に食事  
作りが出来ない方
- など、1食600円でボランティア  
による配達と安否確認を行って  
おります。

詳しくは090-1654-9821  
(久住)まで

**連絡先一覧**

夕映えの会  
お弁当配食については  
★配食事業部へ  
090-1654-9821

生活支援については  
★生活支援部へ  
090-1431-7996  
お気軽にご連絡ください。



**生活支援、配食、運転  
ボランティア募集**

社会福祉法人ゆうえい会  
在宅ケアセンターゆうばえ  
(代)025-264-5000

ゆうばえの里  
ケアハウス 025-264-5715  
ショートステイ 025-264-5730  
ゆうばえの家 025-264-0808

★介護のご相談はケアプランへ  
025-264-5701

**編集後記**

利き腕の中指・薬指・親指の裏側に痺れ  
が続いていました。肘部管症候群と診断が  
ついて、圧迫されていた神経を開放する手  
術を行い7泊8日入院しました。患者と  
なつて職場に入院することになりましたが、  
あらためて健康づくりを考えました。1面  
(住民の声)に登場された須田さんをお訪  
ねしてびっくりしました。須田さんは20代  
後半から、健康づくりを始めたとのこと。  
若い頃はランニング、年を取つてからはウオー  
キング。腹筋・背筋・腕立て伏せは、今も  
欠かしたことはないとか。「長生きすれば  
いろいろなことに会えるでしょ」と穏やか  
に話されますが、「若くして散った戦友た  
ちの分も生きて」そんな覚悟を見た思いで  
した。(M記)